

近世仏教文化文献の基礎的研究

研究代表者 石橋 義秀

緒言

昨年度、近世仏教文化文献の基礎的研究のテーマについて、研究員・協同研究員九名が取り組み、二〇〇九年三月一日に『近世仏教文化文献の基礎的研究』と題する共同研究の中間報告書を出版した。さらに、昨年度、本共同研究をいかに遂行してきたか、その経緯と成果についての概要を『研究所報』No.55(2009,9)に報告した。

その後、研究員・協同研究員は、それぞれ専門の立場から近世仏教文化文献の資料紹介およびその研究を進展させている。諸事情により、本紀要に研究員・協同研究員全員の研究論文を掲載することはできないが、菊池政和氏「大谷大学図書館蔵『越後蒲原郡小女感応記』について―略解題と翻刻―」、佐藤愛弓氏「大谷大学図書館蔵『小野六帖事』について―付翻刻―」、義田孝裕氏「大谷大学図書館蔵『伊勢物語勸請』について―付翻刻―」の研究論文を掲載することで、本共同研究の成果報告とした。

なお、以上の資料『小野六帖事』・『越後蒲原郡小女感応記』・『伊勢物語勸請』は、いずれも大谷大学図書館蔵の重要な文献資料である。また学会に発表されていない資料であり、今回、本紀要に、佐藤愛弓氏・菊池政和氏・義田孝裕氏により、その研究と、資料紹介されることは、学内のみならず学外の研究者に寄与できるものと考えている。

その他の研究員・協同研究員も大谷大学図書館所蔵の近世仏教文化文献について、資料調査した研究成果を近いうちに報告にしたいと念願している。

最後に、資料調査ならびに、本紀要に研究成果報告を許可くださいました大谷大学図書館の格別のご配慮に感謝申し上げます。